

令和5年

第10回教育委員会会議録

(開会 令和5年9月15日)

(閉会 令和5年9月15日)

岐阜県可児市教育委員会

令和5年9月15日午後1時00分開会
会場：市役所4階第3委員会室

出席委員

堀部好彦君（教育長）
長井知子君（教育委員）
梶田知靖君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）
伊藤小百合君（教育委員）

説明のために出席した者

飯田晋司君（事務局長）
佐野政紀君（学校教育課長）
上北泰久君（学校教育課主任指導主事）
真野純次君（学校教育課指導主事）
福田真弓君（学校教育課学校支援係長）

水野 修君（教育総務課長）
水野伸治君（学校給食センター所長）
三宅愛彦君（教育研究所主任指導主事）
古野 寿君（教育研究所指導主事）
木村千恵君（学校教育課学校支援係）

出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

- 1 開 会
- 2 前々回、前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 教育委員報告
- 5 議 事
 - ①議案第27号 令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
(原案可決)
 - ②議案第28号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について (原案可決)
- 6 各課所管事項
- 7 委員からの提案協議事項
- 8 その他
- 9 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） 皆さん、こんにちは。
第10回の教育委員会会議を開催させていただきます。
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりよろしくお願いいたします。

前々回、前回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） では、前々回、前回の会議録の承認について。
- 教育総務課長（水野 修君） 前々回、前回の会議録につきまして変更はございません。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） 変更はなしということによりお願いします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では、教育長報告でございます。
大きく1点、よろしくお願いいたします。
まず、子供たちの夏休みが終わりまして授業再開ということで、夏休み中、私のほうに報告が来るような大きな事故等はなく、それぞれの学校の先生方の御指導に感謝をしております。この間も校長会・教頭会がありまして、お礼をお伝えしてきました。
そこでお話をさせてもらったのは、校長会・教頭会で、9月は前期まとめの時期であると。子供たちが自らの成長を自覚すること、言い換えれば、未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を自覚できる指導をお願いしたいと。自分にはこんな「笑顔の“もと”」があるよということが自覚できる指導を、前期のまとめの時期に節目のところでお願いしますというようなお話を校長会・教頭会でさせていただきました。
その「笑顔の“もと”」の自覚ということでお話をさせていただきたいんですが、報告させていただくのは、夏休み終盤の中体連全国大会、東海大会への出場報告会の件です。陸上競技や水泳の種目で東海大会、全国大会に出場する子がいたんですが、その子を3つの学校でしたが、蘇南中学校、中部中学校、西可児中学校、それぞれ時間を設けて学校ごとに教育長室に来てもらって、その報告会を行いました。
参加をしてくださったのは、それぞれの学校の校長先生や教頭先生、部活の顧問の先生、それから当該の生徒とその保護者ということで、教育長室でお話をさせていただきました。大会の成績だけではなくて、それぞれの子供の成長を感じる懇談となったなあということで報告をさせていただきます。
私からどんなことを聞いて、どんな懇談にしてきたのかということなんですが、最初に子供たちにお話をしたのは、こんなことを聞きました。それぞれ10名とか数名生徒がいたんですけど、部活をずうっと続けてきてよかったと思うことは何ですかと聞きました。そうしたら、いろんなことを言ってくれたんだけど、例えば1つ、目標を持って努力する姿勢が身についたよ、努力できるようになったよということ。ほかには、大人の人も含めて多くの仲間ができたよ。いろんな人と知り合って、いろんな人が仲間と

なっているよということ。または、仲間とは違う言葉で、ライバルができた。これがよかったって、お互い成長し合えるようなライバルができたよということ。ほかに、仲間やライバルができたということに付随して、コミュニケーション能力が身についたよというような言い方をしてくれている生徒もいました。

さらに、こんなことを言ってくれた子もいました。いろんな練習、つらい練習もあるものですから、つらくて心が折れそうになった。それでも、それに耐える力だとか、仲間の力を借りて乗り越える姿勢が身についたよというふうに言ってくれる子もいて、もう一つ上げるならば、持久力という体力が身についたよというふうに言ってくれた子もいました。あらかじめこういうことを聞くのでねということをお願いしたのではなくて、大会成績の話聞きながら、練習の様子も聞きながら、突然私そのことを聞いたんですね。そうしたら、今のようなことをきちっと話をしてくれました。

私、そのことを受けて、その生徒やその保護者たちにこんなことを言いました。今言ってくれた、続けてきてよかったことをいっぱい言ってくれたんだけど、それらは全て未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」じゃないですかねという話をしました。目標を持って努力することだとか、つらさに耐えるとか、これは「笑顔の“もと”」だよという話をしました。将来幸せに生きていくもとなんだよということだね。

さらに、その保護者の方々にはこんなことも付け加えてお話をしました。今、子供たちが言ったことは全て「笑顔の“もと”」なんだけれども、親さんは、我が子が将来幸せに生きていくもとして何だと考えておられますかと。つまり、どんな力を身につけてほしいと思っておられますかと聞きました。答えを求めたわけじゃないんだけど、そういう投げかけをして、それでもう一つ、可児市教育委員会では「笑顔の“もと”」をキャッチフレーズに取組をいろいろやっているんだけど、親さんと一緒になって、子供たちの「笑顔の“もと”」って何だろうということと一緒に考えていきたいというふうに思っていますので、よろしくお願ひしますとお話をさせていただきました。

この懇談で私改めて感じたことは、こういった懇談で私が働きかけたり、子供たちに聞いたり、子供たちにこういうことだよと教えたりしたことは、子供たちに問いかけて、そして子供たちの話に耳を傾けて、その上で褒めていくことで「笑顔の“もと”」を自覚させることができるんじゃないかなあと。前期の終わりのこの節目に、そういった一人一人の声に耳を傾けながら、成長を自覚させるような指導をお願いしますなんていうことを校長会や教頭会で伝えました。

学校だけでなく、教育委員会はこういった成長の自覚の場とか、指導の在り方について明確に示しています。そのことも今日併せてお伝えをしたいなあとと思いますが、この資料、ホチキスでとじてある資料を御覧ください。

一番上が、方針と重点の一部のページをコピーしたものです。それから、あとは両面刷りのものなんですけれども、成長の自覚の場として学校に求めているのは、この1枚目の一番下の右側です。

これは、前に少しだけ説明をしたことがあるかもしれませんが、キャリア・パスポートと呼ばれるものを活用してくださいということを行っています。キャリア・パスポートというのは数年前から文科省が推奨しているもので、自分の成長をつづって、書いて、そういうものをファイルにとじ込んで、小学校1年生から中学校3年生卒業するまで、

ひいては高校までそれを引き継ぎながら、自分のよさを見つけて、将来の目標や職業につながるようなファイルにしていってくださいというものなんですよ。それを可児市では、このキャリア・パスポートを僕・私の「笑顔の“もと”」として、自分づくりの歴史をつづっていくものにしようというふうに話をしています。このキャリア・パスポートを活用して、私が懇談で部活の子たちに気づいてもらったような「笑顔の“もと”」の指導をできないでしょうかなんていうことを伝えているわけです。このキャリア・パスポートの指導、活用の仕方については、教務主任会で今年度年度当初より、または昨年度より真野主事が教務主任に指導をしています。

その指導の資料のうちの一つが、ホチキスで留めた資料の両面刷りのものです。校長会・教頭会資料とあるんですけども、もともとは教務主任会で指導させてもらっているものです。考え方としては、このページの一番下です。ちょっとこれを読ませてください。3行あります。

キャリア・パスポートを活用して、12年間の自らの学習状況やキャリア形成を見直したり、振り返ったりしながら、自分自身の変容や成長を自己評価していきます。可児市では、一人一人が自分の「笑顔の“もと”」を自覚することこそが未来の笑顔につながると考えていますという指導をさせていただいている。

そのキャリア・パスポートの具体なんですけれども、このページの裏です。最後のページになりますが、活用してもらっているキャリア・パスポートの一部です。ここに書いてあるように、「笑顔の“もと”」を見詰めさせるような取組をまとめていく。こういうものを何枚も何枚もつづって自己を見詰めていくことを繰り返していくことが、「笑顔の“もと”」を自覚して将来の目標を持つことにつながるんじゃないかなあというわけです。

ここに書いてあるように、例えば2番、私・僕の「笑顔の“もと”」はというふうに書いてあるんですけども、この子は「真面目で、諦めないで、どんなときでも声をかけられる自分」、こんな力を身につけたい、これが自分の将来の「笑顔の“もと”」になっていくんだというような気持ちで取り組んでいるようですね。学級委員のようなことが書いてあるんですけども、私としてはこういった取組がそれぞれの学校でどんどん広がっていくように願っているわけですが、どうか教育委員の皆さんにおいても、今年度また学校を訪問されるときがもしありましたら、キャリア・パスポートについても話題にさせていただいて、どんなふうに活用されておりますかとか、どんな様式がありますかとか、子供たちはどんなことを書いていますかなんていうようなことを聞いていただけるといいんじゃないかなあ。ただ、学校によってはまだまだこれからだよとかいうようなことで、どうしても意識の差というのがあるかもしれませんけれども、差があるからこそ、教育委員さんの働きかけが背中を押すことにもなるのではないかなあというふうに思っています。

また、教育委員会の事務局としても、「笑顔の“もと”」が自覚できるように事務局が子供たちに直接働きかけていく取組を考えていきたいなあと。学校と教育委員会が、子供たちに直接働きかけていく取組を進めていけないかなあというふうに思っています。また、これは明らかになってきたらお知らせをさせていただきたいなあというふうに思っています。

私からの報告は大きく1点、中体連の出場報告会についてでした。

教育委員報告

○ **教育長（堀部好彦君）** では、教育委員報告に入りたいと思います。

○ **教育委員（小栗照代君）** こんにちは。

まず教育委員としてですけれども、昨日ですが、可児学校保健会第2回理事会がありまして出席させていただきました。内容としましては、可児学校保健会の表彰についてということで表彰者が決まったよということと、それから第65回可児学校保健会研究総会が12月9日に中恵土地区センターで開催されますということも御連絡がございました。

それと、東明小学校のほうにお話をお伺いしまして、学級閉鎖などもありましたので、どうですかということをお話を伺いましたら、今インフルエンザとコロナと両方はやっているんですが、東明小学校はコロナだけなんですということでした、学級閉鎖になるほど人数は広がっていないんですけれども、1人が治ると違う学年で出てきてというような形で、学年で点々とまだコロナで休むというお子さんがいらっしゃるということで、引き続き気をつけていきたいと思うというお話でした。でも、元気に子供たちも夏休み明けをスタートしたので、順調に進んでいますというお話でした。

それから、間もなく運動会なんですけど、その練習も始まりまして、それで今までコロナであまり大々的にできなかったんですが、草刈りをPTA主催で2回に分けてやっていただくということで1回目終了したと。朝すごく早くて、何時だったかな、7時ぐらいから……。

○ **教育長（堀部好彦君）** 7時前からやっていました。偶然通りかかったんです。

○ **教育委員（小栗照代君）** 6時半か7時か、それぐらいから早く始まりまして、半分のPTAの地区の方ということだったんですけれども、それにある地区ですと、PTAの方、強制じゃないんですけれども、若い方が若い方に声をかけて、PTAの保護者の方に出てきてくれということでかなり積極的に誘ってくださったりとか、それから久々利地区は自治会長の会の方々が出てくださって、お年を召した方が大勢いらっしゃるんですが、皆さんベテランですので、草刈りについては。それから、大きいすごい草刈り機も新品のものを持ってきて、前もって下見に来て、どこをやっちゃいいんだみたいなことをおっしゃっていらっしゃったみたいですけど、そんな形ですごく自治会も積極的に一緒になってやっていただいて大変助かったというお話をしてくださいました。

それから、地域の方にもお話を聞きましたら、やはり自治会長の会の方々が一生懸命やっていたので、ありがたかったというお話も聞きました。それから、学校の教頭先生がおっしゃっていたのは、久々利の地区センターのほうもいろんなことですごく協力的で、何でもあれば協力させてもらいますのでということをおっしゃってくださいました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

まず可児学校保健会につきましては、事務局がずうっと今渡南小学校だったのが、会長さんが替わったということで中部中学校に替わったんですけれども、事務局がね。新しい事務局で分からないところがいっぱいあるのではないかなあと思っているんですが、

引継ぎもきちっとされているようで、つつがなく本当にきちっと今年度のいろんな事務が進んでいるなあということを昨日の会議で感じました。本当にありがたいなあと思っています。

あと今東明小学校のお話でしたが、これは可児市のすばらしいところだと思うんですけども、本当にどの地区も学校を支える、そういった思いをいろんな団体、いろんな方々から感じますよね。草刈りしかり、それから地区センターの協力しかり、そうなんですけれども、今後コミュニティ・スクール導入のことを考えると大変ありがたい環境というか、背景になってくるんじゃないかなあということを思いながらお聞きしました。ありがとうございます。

○ **教育委員（長井知子君）** よろしくお願ひします。

教育委員としての活動はありませんでした。

昨日、夏休みも終わったので、広見小学校のほうにちょっとお邪魔させていただきました。校長先生が、今先生方が4名ほどコロナにかかっているといつて、なので、人が足りないからみんなで助け合つてやっていますとおっしゃっていました。たまたまお電話して、ぜひ来てくださいといつて電話したその当日に伺つたんですけど、学校の様子を見せていただいたときに、すごく子供たちが穏やかといつて、雰囲気もよくて、奥村校長先生のお人柄が全て出ているなあと感じました。

あとは、校長先生が教えてくださったんですけども、校長室に書類を入れる棚があつて、そこに僕は思いを書いているんだよといつて、大事にしていることが、心の安定とバランス感覚を持つ、ワーク・ライフ・バランスの3つのことを大切にしているから、そこに貼つておくと。先生方がその扉を開けたときに必ず目に入るから貼つているんだよといつて、すごく先生方のことを大切にしているんだなあといつてのが伝わってきました。

あと校長先生が言われていたのは、スマイリングルームに通つている子供とか、ちょっと不登校ぎみの子供たちに、カブトムシを育てているところとか幼虫を見せてあげるとすごく喜ぶんだよといつて、なので、ずうつと昔から育てているんだよといつて、何か奥から持ってきてくださつて見せてくださつて、そんな感じでできていました。

広見小学校は生徒数もすごく多いので、本当に大変だなといつてのは思いますが、校長先生や教頭先生のお顔を見たときに、すごく学校の雰囲気がいいんだろうなといつてのが伝わつてきて、先生方にお任せしておけば大丈夫なんだろうなといつてのがすごく伝わりました。ですけど、きっと人に言えない苦悩だとか、人の上に立つといつてのは、協力者はいてもやっぱりどこか孤独を感じることはあると思うので、校長先生のお支えができたらなあと思つて帰つてきました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 大変ありがたいお話をありがとうございます。

校長や教頭と大変よい関係を委員がつくつてもらっているなあといつて今日のお話でも感じました。訪問される前に電話をされて、ぜひ来てくださいといつてような反応があつて、行くといつていろんなお話をされてといつて、やっぱり校長からすると、なかなか職員には話していないことも、委員の皆さんには話しておられることがあるんじゃないかなあといつてふうに思うんですよね。いろんな話をしながら、それに対して委員の方々がいろんなことをおっしゃつてくださつていふことで、それこそ校長の安定につな

がっているところもあると思っています。ですので、訪問が管理職の心の安定につながっているなんていうのは本当に素晴らしいことだなあとということを思いますので、今後ともよろしくお願いをします。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** こんにちは。よろしくお願いをいたします。

先週の9日の土曜日に、市の児童生徒科学・社会科作品展に行ってきました。今コロナ禍で、最近呼ばれるのはしばらくなかったので久しぶりに見に行ってきました。本当にどの作品も身近にあるなぜというか、疑問をきっかけにして、それを少しずつ追求していく、自分がちょっと関心を持ったものとかを見てきたんですけど、見応えのある内容とか研究がすごく多くありました。

7月の会議で、先ほど教育長も言われていましたけれども、給食センターの水野所長も、毎日お代わりするぐらい大好きな土田小学校の小学生の児童の話が出たんですけども、その課題も出展されていて、本当に学校給食が安い理由だったりとか、食材の入手方法とか、給食の配達方法など、何となくは私たちも分かっていることでも、詳しく追求して、すごく調べてあって、それがすごく分かりやすく書かれていて、本当に見ていると、ああ、なるほどとか、すごく勉強にこちらがなるぐらいでした。

ほかにもたくさんあったんですけども、ちょっと気になったというか気づいたのが、1年間例えば夏だけとかの研究じゃなくて、数年だったりとか、長い子だと多分小学生から中学生にかけて9年間ずうっと毎年やってきたという、長期間かけてやってきた子の研究の作品が結構目に留まって、こういうものというのはすごく取り組む姿勢ももちろん素晴らしいですし、探求していく心が自分の自己肯定感を育てていけるきっかけになったらいいなあというのをすごく感じて見えました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本当にしっかり見ていただいてありがとうございました。

委員言われるとおりでと思います。自己肯定感を育てるという夏休みの課題の狙いにもあるんじゃないかなと思います。

これは一部、最近夏休みの課題をなしにしたら、なしだよということを主張しておられる方々や、そういうことを実行しておられる学校があるやに伺うんですけども、今の伊藤委員の報告を聞いて改めて思うのは、無理やりやって、嫌々やっておっては意味ないかもしれないんだけど、作品展に出されるような作品を見ると、その子たちは本当に主体的に自分で課題を持って取り組んでいるんだなあということを思うし、だからこそ伝わってくるものがあるんですよ。

私も給食のことは本当にうれしくて、私もセンター長から聞いてうれしかったんですけども、やっぱりその子が実際に本当に調べてみたいんだという気持ちを持って取り組んでいるから伝わるものがあるんだろうと思うし、可児市を取り上げた取組についても、市長が心を動かされたのもきっと、ああ、かにっこが可児市のいいところを見つけて、見詰めて調べようとしてくれているんだということに心を動かされたのではないかなというふうに思いました。素晴らしい作品展だったなということを改めて思いました。ありがとうございました。

○ **教育委員（梶田知靖君）** こんにちは。

教育委員としての活動は、今回特にありませんでした。

毎日のように学校教育課さんからどここの学校で、教育長もおっしゃられましたけ

れども、コロナでとかインフルエンザで学級閉鎖になっているというメールが届くと、本当に増えてきているんだなあというのはすごく感じました。

広見小学校さんに、ちょっと私つい先日、自分の仕事の関係でお邪魔したときに、2年生ぐらいの女の子が、多分クラスの子にちょっと嫌なことをされたのかなという場面にたまたま遭遇しました。職員室で担任の先生と学年主任の先生、じっくり見ておったわけではないんですけれども、本当に先生方も優しくその女の子に声をかけていらっしやあって、相手の子にちゃんと謝ってもらったのとか、本当に優しく声をかけていらっしやいました。違う先生も、私もとても勉強になりましたということをおっしゃっている声が聞こえてきたので、すばらしい対応をされていたんだなと思いました。長井委員が言われたとおり、広見小学校さん、本当に和やかに、そういったお子さんがいらっしやってもすぐ対応していらっしやったので、大丈夫かなと思いました。

あと、教育委員報告に関係ないかもしれませんが、今月中日新聞の1面か何かに西濃学園の不登校の記事が載っていきまして、大垣市と提携して不登校に対する、解決していくというような記事が1面に載っていたんですけど、可児市はスマイリングルームというのがあって、西濃学園さんと情報交換だったりとか、そういうのはあったりしますか。ちょっと質問になっちゃいますけど、全然後ほどでも構いませんが、すみません、私の報告は以上になります。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。話題にされた、ちょっとつらい思いをした児童への対応で、職員が職員に対して勉強になりましたというような言葉が聞こえてきた、これはすばらしいですね。教員というのは、研修がいろんな場で位置づいているだけけれども、日常的に先輩から学ぶとか、同僚から学ぶとか、こういったこともとても大切で、むしろそういったことのほうが自分の経験からも思い出すと、身につくんですね。ただ、どんな職場でもお互いに学び合えるような関係があるかというところ、これはまた簡単にはいかないことだろうというふうに思います。なので、大変よいお話を聞かせていただいたなあということも思って、うれしかったです。

またコロナについては、去年も夏休み以後、コロナがちょっと心配だったんだけど、去年と今年が違うのは、コロナとインフルエンザが混在しているということなので、またこれは去年と違うような流れになるかもしれないなあというようなことも思っています。

それから最後、西濃学園について、大変大きく1面にとということで報道されて、NHKなんかでもやっています、私も見ましたけれども、西濃学園さんは私のところにも理事長と校長が来てくださいました。教育長室で懇談をさせていただいて、資料も頂いております。新聞で取り上げられた、報道で取り上げられたのは、西濃学園が持っているノウハウを、科学的なノウハウですね。不登校、不安定になっている子たちを立ち直らせる、自立させるためのノウハウを学校に提供して、未然防止だとか、初期対応等に役立ててくださいというような提携をしましたというのが趣旨だったと思います。

私どもも、西濃学園のそういったノウハウを勉強させていただきたいなあということも思っております。これはまた今後提案がされるかもしれませんが、教育委員会訪問、昨年度も不登校関係でということで草潤中学校に行かせていただいたんですけど、西濃学園に行くということもありかなというふうに思っておりますし、向こうさんはウ

エルカムということで、校長先生は私大変よく存じ上げている素晴らしい方なんですけれども、いつでも来てくれよというふうに言うてくださっていますので、また候補のうちの一つに入れてもいいんじゃないかなということを思っております。ありがとうございました。

議事

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、議事に入ります。
- **事務局長（飯田晋司君）** 議案書を御覧ください。
表紙の裏面の目次のとおり、本日は議案が2件です。
議案第27号 令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて、議案第28号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上2件についてよろしくお願いいたします。
- **教育長（堀部好彦君）** 本日の議事の議案第27号 令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて、議案第28号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、意思形成に関わる案件、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。
〔「異議なし」の声あり〕
異議がないようですので、この3件については非公開といたします。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続きます、各課所管事項です。
- **事務局長（飯田晋司君）** 私からは、9月議会の経過や結果について御報告させていただきます。
本会議における人事案件として、開会日8月25日、この9月末で1期4年の任期満了となる小栗委員の再任について議会の同意をいただきました。小栗委員におかれましては、10月から2期目に入られるということで引き続きよろしくお願いいたします。
また、先回の教育委員会会議でお諮りした小学校施設改修経費の増額3,500万円を含む補正予算は、現在予算決算委員会へ付託されておりまして、今議会中に議決される予定でございます。
続きます、一般質問についての報告です。
2件質問がございました。
まず1つ目、板津議員から、市議会議員選挙投票率低下の検証はと題した質問の中で、小・中学校での主権者教育においてどのような取組をしているか、また今後の取組はという質問がございました。それに対しては、答弁として次のように答えております。
主権者教育は、児童・生徒の発達の段階を踏まえて学校教育全般にわたって行っているとした上で、学校では、日常の学級活動の中で集団を構成する一人としての自覚を持たせて自己有用感を高めたり、他者と関わらせて合意形成に至ることができるコミュニケーション能力を高めたりするなど、社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら社会を生き抜く力を育てていると説明をしました。

また、社会科の学習において、小学校6年生や中学校3年生の授業で選挙の意義や重要性について理解を深め、主体的に政治に参加することの大切さなどを学んでいると説明をしました。

今後の取組としては、小・中学校からの体系的な指導の充実の観点から、学習指導要領に基づき、児童・生徒の発達の段階を踏まえ、地域貢献や社会参画への意識を高めていくという旨の答弁をしております。

続いてもう一人、田口豊和議員から、オーガニック給食、低アレルゲン給食についての現状、課題、取組について質問がありました。

最初に、オーガニック給食についてでございます。オーガニック食材は、形や大きさがふぞろいな場合が多くて、実際に使用できる食材がほとんど流通していないことなどから、数の確保が困難であったり、価格が高いことなど、導入は容易でないとの認識を持っているとした上で、そんな中、昨年度、安定供給の見込みがある食材があったため詳しく検討したが、価格や給食センターで使用する場合に必要となる複数の条件がどうしても折り合わず、給食として利用するには至らなかった事例があったことを紹介しました。この先、国の方針などもあり、オーガニック給食は徐々に増えていくと思われることから、様々な課題については有機農業に取り組む農家などが増加することにより解消されていくことも考えられるとした上で、市としても条件に合うものであれば、オーガニック食材を含めて総合的に判断して選定していきたいと考えている旨の答弁をしております。

また、低アレルゲン給食につきましては、毎年食物アレルギー調査を実施しており、アレルギーを持つ児童・生徒は大変多い状況が続いていること、またアレルゲンも多様になっているため、給食センターでこれらに対応した給食を安全に提供していくことは、本市の規模では現実的に困難であるとした上で、月に1度のカレーは低アレルゲンで提供するなど、現在も部分的には学校給食で低アレルゲンのメニューを提供していると説明をしております。

また、学校給食においては、引き続き保護者に使用する食材などの情報提供をするとともに、学校と給食センターとでアレルゲンに関する情報を共有しながら対応していくこと、アレルギーに対する理解を深める取組については現在も行っておりますが、給食時間の放送で献立に併せて紹介することや、担任、栄養教諭などによる食に関する指導により、引き続き実施していくというふうに答弁をしております。

私からは以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（水野 修君）** 私からは2点お願いいたします。

前回の会議の中でも、広見小学校と蘇南中学校に雷が落ちましたというお話をさせていただきました。実はちょうど1か月後の8月26日に、同じ広見小学校と蘇南中学校にもう一回ずつ落ちました。広見小学校につきましては、火災報知器とかネットワークやられておりますが、こちらのほうは既に対応済みということでございます。蘇南中学校は7月に空調の室外機に落ちたんですが、修理直後に再度落ちまして、今度は空調の室外機から部屋の中の空調の施設まで全部やられてしまいました。再度もう一回やり直しということになっております。我々のほうも、当日からすぐ対応させていただいており

まして、発注等、全て今やっている最中でございます。ただ、お金のほうがかなりかかってしまうということで、今後予算につきましては、また補正予算を出させていただくというようなことで、本当に蘇南中学校の生徒さんには大変暑い中申し訳ないんですが、頑張って勉強していただいております。申し訳ないですが、我々も早め何とか対応していきたいと思っております。ちょっと基盤のほうが前回の落雷で使ってしまいまして、在庫がないということで、かなり遅れておるといような状況もございますので、御承知おきをいただきたいと思っております。

それから2点目です。

セアカゴケグモについてです。こちら8月30日に東可児中学校で見つかりましたというのをメールで皆様方にはお知らせしたところでございますが、これを機会に、今年の6月に広陵中学校でもセアカゴケグモが出ておりますので、もう一回うちの職員と環境課の職員で見に行ったところ、やはりおりましたので、一応御報告だけさせていただこうかなと思っております。そのとき9月4日に見に行ったんですが、成体15匹、卵囊10個確認しております。その後、実は一般の方から9月9日に通報があって、見たよというお話をいただいたので、うちの職員のほうで確認に行ったところ、やはり1匹おりましたので、そちらのほうも駆除させていただきました。これは9月9日に一般から通報があったのは広陵中学校でございますが、前も広陵中学校ですね、駆除をしておるといったところですので、御承知おきをいただきたいと思っております。

それから、先ほど梶田委員のほうからありました西濃学園の件につきましては、今教育長のお話にありましたように、いろんな資料は私どものほうに頂いております。また教育委員さんの視察とかで見に行けたらいいかなと思っておりますので、またこちらは一つの候補として考えておるところでございますので、また決まり次第、御報告、調整させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校教育課長（佐野政紀君）** 8月16日以降の学校に関わる動きをお伝えします。

夏休み以降も、今日もそうですが、暑さが続いております。学校はテントを設置したり、暑さ指数を確認して、危険な場合はグラウンドでの活動を控えるなど熱中症の対策を継続しているところです。

学級閉鎖は4校7学級です。インフルエンザや新型コロナウイルスによるものです。春里小学校、今渡南小学校、旭小学校、中部中学校、そして今日この後、給食を食べ終わっておりますけれども、東明小学校さんが給食後の引渡し、早引きということになりますので、油断することなく感染症対策、熱中症対策も含めて学校には指示をしているところです。学校は一生懸命対応しながら進めているところです。

修学旅行についてですが、蘇南中学校が昨日から今日、1泊2日で京都・大阪に行っています。また今後、広陵中学校が9月下旬、27日から29日、中部中学校が10月11日から13日、小学校は兼山小学校が9月末、28日から、その後10月以降、順次11月、12月の頭まで修学旅行が予定されております。

夏休み以降、市内16校ですが、教育長冒頭でお話しありましたけれども、本当におかげさまで順調に学校がスタートしております。大きな事件や事故に巻き込まれることな

くスタートができております。前回の教育委員会会議では、学校に、心配される児童・生徒に対して家庭への電話連絡を継続して行って、スムーズに学校始まりが迎えられるように配慮する指導をしていることとお話しさせていただきました。取り立てて希死念慮については注視しているところですが、報告が上がってきた児童・生徒については、これも継続して定期的な家庭連絡を行ったり、様子を確認しているところです。

8月の主な希死念慮の要因は、勉強が嫌になった、友人とのトラブル。自傷行為が繰り返されている家庭には、学校にいる生徒指導主事を中心としたチームで立ち上げをして、対応策を共有して医療機関につなぐことができたというよい報告も受けております。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** お願いいたします。

大きく2点お願いします。

本日ですが、いつものホチキス留めの資料はございませんが、1枚、A4両面印刷、令和5年度可児市「笑顔の学校」公表会開催についてという案内、ありますでしょうか。

では、お願いいたします。教育委員の皆様も御承知のとおりですが、可児市では一人一人の今の笑顔を未来の笑顔につなげるために、各学校にはそれぞれの学校が育みたい「笑顔の“もと”」を明らかにしていただいて、それを育むために特色ある教育活動を展開していただいているところです。

この「笑顔の学校」公表会ですが、先ほど教育長が話されたときのホチキス留めのプリントにもあるように、学校として掲げた「笑顔の“もと”」がちゃんと育っているのかということを教師自身が評価する自覚の場として位置づいております。後期がスタートして約1か月たった11月2日というこの時期に、公表校の実践から学ぶと同時に、自分の学校についても振り返って後期の教育活動につなげるこの「笑顔の学校」公表会は、可児市にとってとても意義深い研修会であると捉えております。

今年度の公表校ですが、案内にもありますように、広見小学校と広陵中学校の2校です。発表は市内全ての学校で、それぞれ研究会を行っていただくために動画配信で行います。先ほど申したように、11月2日木曜日14時より行いますが、教育委員の皆様方には、昨年度と同様、総合会館1階の教育研究所で御覧いただければと思っておりますので、お忙しいとは存じますが、ぜひとも研究所へお越しいただいて、御感想、御意見、御指導等賜りたいと存じます。

細かな日程と内容につきましては、案内の表面の中段、四角で囲んであるところにあるとおりですが、視聴時間は約1時間15分となっております。その後、学校の先生方は休憩を挟んで各学校で研究会を行いますが、教育委員の皆様には、視聴していただいた後に、市教委、研究所の職員の事務局のメンバーと感想交流や御意見とか、御指導いただければと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

もう一点、資料はありませんが、先ほど伊藤委員がお話くださいました科学・社会科作品展について、私も少し御報告をさせていただきます。

昨日ですが、岐阜新聞でも取り上げていただきましたが、今年度は市内の小・中学校から科学作品は631点、社会科のほうは436点、合わせますと1,067点もの作品が各学校に出されました。各学校での審査を経て、当日会場に並べさせてもらったのは、科学作

品が112点、社会科のほうは88点と、合計200点の作品を展示させていただいたところでは、

今年度は、4年ぶりに通常開催をさせていただいたということで、1,000人を超える来場者に来ていただき本当に大盛況だったかと思えます。御来場いただいた方にアンケートを書いていただきました。例えばこんな御感想です。「たくさんの工夫された研究に触れ、本人にとっても刺激になりました」「次はこのようにしたらよいのかや、このようなやり方は思いつかなかったなど多くの学びになりました」「こうして展示される場があることを感謝します。ありがとうございます」とありがたい御意見もいただいております。きちんと振り返りを行って、来年にまたつなげたいと思っております。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校給食センター所長（水野伸治君）** よろしくお願ひします。

学校給食のほうは、8月29日よりスタートをいたしました。夏休み明け、まだまだ暑い日が続きますので、頑張ってお学校へ来てもらって、楽しく元気よく学校生活を送ってもらえたらという思いから、夏休み明けすぐの献立には夏野菜カレーライスや塩ラーメン、空揚げ、ハンバーグなど人気のメニューに加えて、冷凍ミカンやゼリー、梨などデザートなども添えさせていただきまして提供してまいりました。子供たちの反応が楽しみでありましたけど、カレーを楽しみにしてくれて学校へ来た子ですとか、久しぶりの給食を楽しみにしていたという子も多くいたようです。また、食缶の残りがいつもより大分少なかったというクラスもありました。学校によっては運動会の練習が始まっているところもございまして、給食のおかげで暑い中頑張れたよなどのうれしい感想を、連絡ノートを通して頂戴しております。

もう一つ、先ほど教育長、伊藤委員、それから教育研究所のほうからもお話がありましたけれども、社会科作品展で受賞しました土田小学校6年生お子さんのお話ですが、センターのほうでも受賞のお話を聞きまして、大したことはできていませんが、一緒に喜ばせていただきました。「おいしい給食、なぜ安い」というタイトルのつけ方も、引きつけるのが上手だなということも感心いたしました。確かに給食が大好きで、疑問に思うことは理解するまで研究する子で、帰るときにはもう研究は完璧ですと言ったのがとても印象的でした。特選に選ばれて、県の作品展の候補にもなったと聞いております。私は市の作品展にちょっと行くことができませんでしたので、何とか県の作品展にも進んでもらって、ぜひその作品をじっくり拝見したいと思っております。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
ただいま各課からの報告につきまして、御質問等ありますでしょうか。
- **教育委員（小栗照代君）** 御報告ありがとうございます。
雷で特に蘇南中学校は大変ということですが、学校に避雷針があるというイメージがあるんですけども、実際はどうなんですか。
- **教育総務課長（水野 修君）** ちょうどその話、今午前中に、可児市に住んでおられる気象予報士で防災士の方がおまして、防災アドバイザーという肩書を持った方がちょうどここに見えていたので、ちらっとお話をお伺いしたところでございますが、

避雷針というのは、実は落雷そのものを防ぐわけではなくて、避雷針の「避」と書いてありますので、「避（よ）ける」と書いて雷をよける柱ですという意味ではなくて、あそこには全部雷が集まるそうです。

なぜ落雷の被害が起こるかといいますと、要は避雷針に向かって落ちるのではなくて、その付近にどこでも落ちるらしいんですけど、そこに落ちたところから地中を伝わって、アース線ですとか、そういったところから機械の中に入り込んで機械を壊していくということです。避雷針というのは、あくまでそこに落ちて、その例えば壁を壊すとか、そこで落ちたがために火事になってしまうとか、そういう建物を守るため、建物そのものを守るための柱であって、中身の電気機器を守るとかいうわけではないよという話を伺いまして、あくまでそういうものなので、落雷があったときはよくコンセントを抜きましょうとか言いますね。ああいうところでコンセントを抜くとか、アース線を抜くとか、要は落ちて地面からはい上がってきて、こうやって回ってくる、その回路をどこかで断ち切ることができれば機器は大丈夫というような話を聞いておりますので、なかなかいい勉強になったなど。

本当にちょっと呼び止めて話を伺っただけなので、簡単などころだけではごさいますけれども、今回、蘇南中学校と広見小学校ばかり何で落ちるんでしょうねという話をしたら、やはり水のあるところに落ちるんだと。よく金属があるところとか言いますが、実際は水、湿気が多いところは特に落ちるといような話で、確かに蘇南中学校ですとか、土田小学校もそうなんですけど、ああいう低い位置で水がたまっているところ、それから広見小学校も実は山から地下水が下りてきて可児川へ流れていく、その水脈といったところがちょうど山を切り開いて造ったあの山の下ぐらにあるらしくて、そういったところはしっかり落ちてくるよという話を伺っているんで、今後もどんどん落ちると思いますよという話をされましたので、そういったところ、危険だなというのがやっぱり分かりましたので、こちらとしても何らかの対策、お聞きした対策もありますので、そういったところも考えていきたいなと思っておりますので、あくまで避雷針については、100%守るものではないというのだけ御承知おきいただければいいかなと思います。

- **教育委員（小栗照代君）** かしこまりました。じゃあ、各学校に避雷針はあるけれども、今おっしゃったようなことだという認識ですね。
- **教育総務課長（水野 修君）** はい。機器は行くよということです。
- **教育委員（小栗照代君）** 分かりました。ありがとうございます。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
ほかよろしいですか。

〔挙手する者なし〕

じゃあ、私から2点お伝えしたいと思います。

まず議会対応、今回2つ教育委員会として答弁させていただきましたが、その中で主権者教育についての一般質問があった背景なんですけれども、この夏の市議会の議員選挙の投票率が過去最低であったと。これを踏まえての質問が数点あって、多くはなぜこんなに投票率が低いのかと、これを少しでも高めていく方策を問うという趣旨、その中で学校教育として主権者教育をどう取り組んでいるのかということなんです。

先ほどの事務局長のお話にもあったように、主権者教育というのは投票率を上げるための教育じゃないんですよ。投票所に行くための教育ではない。それも教えるというか、促しますけど、模擬投票で実際に選挙に使うような投票箱を持ってきて、投票所というのはこんなふうになっているんだよということをお知らせしながら、もしそれを不安に思っているような子がおれば、それで不安を払拭するということもあるんでしょうけど、もっともっと違う視点で大切なのは、本当に自分たちの社会のルールだとか、よくしていくための方策というのは自分たちで決めることだといった主権者としての自覚を高めていくのが主権者教育なんだと。

学習指導要領では、全ての教育活動でそういった視点を踏まえながらやっていきたいと思いますということ、可児市として特に大切にしていきたいなというふうに思っているのは、地域貢献の体験をいろんなところで味わわせてやりたいなあ、または社会参画の意識を高めるような経験をさせてやりたいなあということです。自分が地域の役に立ったじゃないの、自分の考えや自分の言っていることや自分のやっていることがなんていうような体験をいろんなところでさせてやりたいなあというふうに思っています。これは「笑顔の“もと”」だというふうに思っています。自己有用感。これも今後組織的に、そんな体験を市として教育委員会として提供できるようなことはないかなんていう可能性を今探っているところです。なので、取り立てて今お話をさせていただきました。

それから、もう一点は希死念慮のことです。

今、希死念慮を抱えている子が可児市内で、昨年度もそうだったと思いますが、30人程度います。その子たちの報告が毎月毎月上がってきます。様々な理由があるわけですが、そういった子がいる一方で、先ほど部活の報告で紹介させていただいたある生徒の「笑顔の“もと”」、心が折れそうになってもくじけない、そんな力が身についたと言いつける子がいるんですよ。部活やってよかったことは何と言っただけで、だから本当にその子はそうやって思っているんでしょうね。

だから、一方でそういう子がいるということで、何か希死念慮の子たちにしてあげられることがないだろうかと思ったときに、そういった子の体験、部活で今言ったような体験が何かヒントになるのかなあなんていうことも思っています。またこれも私たちの課題じゃないかなあというふうに思いながらお聞きしました。ありがとうございました。

委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** では、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題としますが、何かございますでしょうか。
- **教育委員（小栗照代君）** 提案とか協議事項ということでもないんですけども、最近、お隣の愛知県ではラーケーションの日というのを設定したという……。

何かといいますと、学校の休みは基本的に土・日だと思うんですけど、保護者の方が土・日ではないので、保護者の休みに合わせて3日間まで休めるというのが、話題となっています。岐阜県のホームページを見ると、これは4月なんですけれども、ほかの先行している県などの効果などや、全国的な取り入れ状況とか、そういったものを見て注視してまいりますというような情報を公開しております。実際に可児市の状況というものも把握したいなと自分自身でも思いますし、今後どういうふうに取り扱っていけばい

いのかなというのをちょっと確認取ったほうがいいかなと思いました。

- **教育長（堀部好彦君）** なるほど。今の本当に新しい動きについて御提案をいただきましてありがとうございます。今この場でということではないかと思いますが、それを受けまして、学校の状況を調べたりだとかということではできると思っていますので。
- **教育委員（小栗照代君）** そうですね。実際に例えば保護者の方からそういう御意見があるというようなことがあるよということであったりとか、どんなふうに思っていらっしゃるかとかということもあるでしょうし、実際にうちの子がまだ小さいときなんですけれども、保護者の方でお休みが取れないのでということで、学校を休ませて家族旅行をしていらっしゃるという方もいらっしゃいました。どうしても古い頭なので、学校を休ませて行くのというのはと、そのとき自分自身は思っていました。実際やはり保護者の方とお休みが合わなくて、親子で触れ合って学ぶ時間がないということは、やはりそういった時間を取っていくことも、これからの時代は必要なのかなという観点でも、取り入れるとか取り入れないとか、そういったこともそろそろちょっと考えていくスタートかなというふうに思いましたので、御提案させていただきました。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

この場ではちょっと今すぐということではないんですけれども、事務局会議等で話題には上げさせていただきたいなということは思いました。局長、またよろしく願います。
- **事務局長（飯田晋司君）** はい。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

ほか、ありますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

その他

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次にその他に行きたいと思います。

次回の日程等です。
- **教育総務課長（水野 修君）** それでは、次回の日程でございます。

先月に御提案させていただいておりますが、10月の日程につきましては、10月13日金曜日の午後1時からということですのでよろしくお願いをしたいと思います。場所につきましては、この同じ4階ですが、第1会議室です。東館のほうになります。あちらのほうで行う予定でございますので、よろしくお願いいたします。その日につきましては、教育委員会会議終了後に教育政策会議を引き続き行う予定でございます。次年度の当初予算の内容について御審議いただくということになりますので、併せてよろしくお願いをいたします。

そして、その次の11月の日程でございますが、こちら若干お声をかけさせていただいたかと思いますが、11月17日金曜日午前9時からというふうでいかがでしょうか。

〔「大丈夫です」の声あり〕

ありがとうございます。じゃあ、その辺で調整をさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

あわせてなんですけど、まだちょっと事務的なレベルでございまして、議会事務局のほうから事務局を通じて事務レベルで非公式なルートでございしますが、非公式なまだ内容でございしますが、議会の教育福祉委員会と懇談会をしてもらえないかという話が今来ておるところでございしますので、またちょっと調整させていただきたいと思いますが、恐らくこの11月17日ぐらいでできんかなと私は思っていますが、これは決定しましたら、また皆様方にお知らせをしていきたいと思しますので、御承知おきだけ、すみませんがよろしく願いをいたします。

私からは以上でございします。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

では、休憩なしで続けてよろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

ありがとうございます。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、全て報告、議事等終わりましたので、これにて終了したいと思います。

お疲れさまでした。ありがとうございます。

閉会 午後2時51分